

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県羽島市 羽島市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
68,219	26,158	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

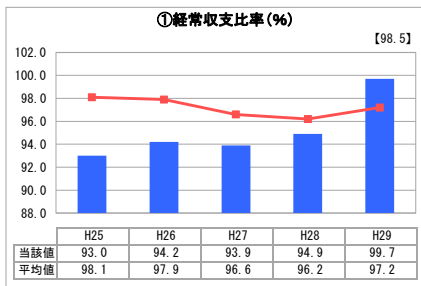
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
271	-	10
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	281
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
254	-	254

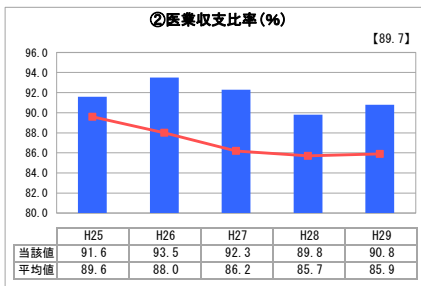
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

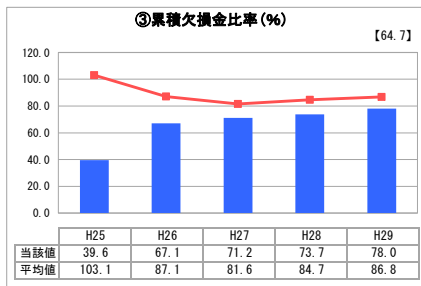
1. 経営の健全性・効率性



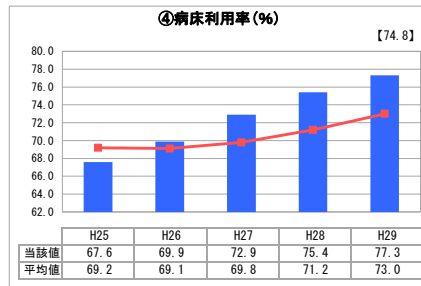
「経常損益」



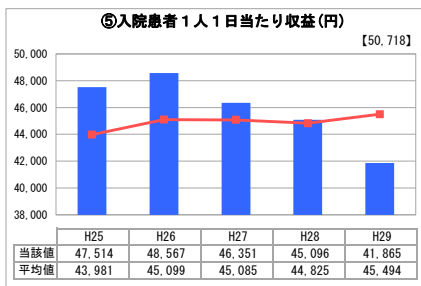
「医業損益」



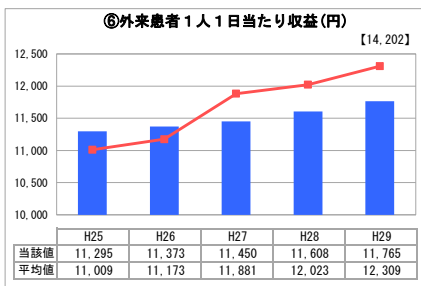
「累積欠損」



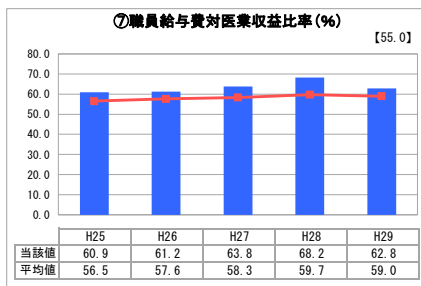
「施設の効率性」



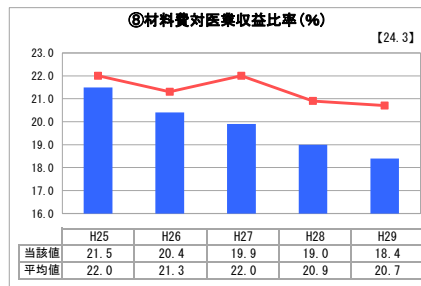
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

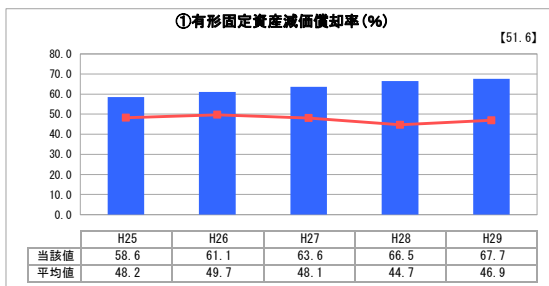


「費用の効率性①」

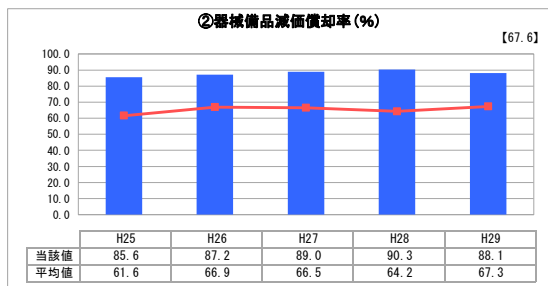


「費用の効率性②」

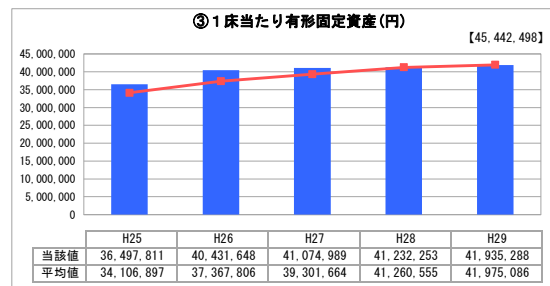
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

岐阜医療圏南部の地域医療の中心となり、入院治療や手術が必要となる重症患者に対応する救急医療や、高度で専門的な医療が必要となる急性期医療を提供する病院として地域の医療を担っています。また平成26年度より、岐阜県内の自治体病院に先駆け地域包括ケア病棟を開院し、地域に不足している回復期機能を持つ病床の確保に努め、在宅復帰支援に貢献しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
医業外収入の繰入金増加により上昇しました。
- ② 医業収支比率
給与費等の減少により上昇しました。
- ③ 累積欠損金比率
純損失の計上により上昇しました。
- ④ 病床利用率
回復期病床の需要により上昇しました。
- ⑤ 入院患者1人1日あたり収益
回復期病床の運用の割合が高まったため、減少しました。
- ⑥ 外来患者1人1日あたり収益
検査等の需要により上昇しました。
- ⑦ 職員給与費対医業収益比率
退職手当引当金等の影響により下降しました。
- ⑧ 材料費対医業収益比率
経費削減の取り組みにより下降しました。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似病院平均値を上回る水準で推移しており、項目別に建物59.1%、構築物57.7%、器械備品88.1%、車両84.0%、リース資産74.6%の償却率となっています。経営の効率化により収支の安定を図り、計画的に設備の更新を行っていく必要があります。
- ② 器械備品減価償却率
有形固定資産の中でも特に機器類の償却が進んでおり、類似病院平均値と比較しても高い水準となっています。経営の効率化により収支の安定を図り、計画的に設備の更新を行っていく必要があります。
- ③ 1床あたり有形固定資産
ほぼ平均値と同じ水準となっています。

全体総括

二次救急機能、急性期機能により地域医療を守りつつ、回復期機能も担うことを本院の役割と位置づけた上で、経営の効率化により安定した病院経営を目指すため、平成32年度までの目標を定めた新公立病院改革プランの各種施策に取り組んでいきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。